

## 2 - 2 重点事業評価

事業名

広域サービスの充実

### (1) 事業の概要

#### ● 対象

図書館に直接来館する利用者だけでなく、距離的理由や身体的理由などにより、来館が困難な利用者。

#### ● 意図・目的

相互貸借制度の拡充や、遠隔地返却サービスの導入と当館の独自データベースの充実によってインターネット等の電子媒体を活用した情報提供サービスの充実を図ることにより、県立図書館のサービスを「だれでも」「いつでも」「どこからでも」利用できる環境の整備を進めていく。

#### ● 具体的取組の概要

- ①地域の図書館を通じて県立図書館の資料を利用する相互貸借送料について、これまでの往路負担から往復負担に拡充するとともに、県立図書館から借りた資料を地域の図書館で返却する「遠隔地返却サービス」を開始する。
- ②ナクソス・ジャパンが運営するインターネット音楽配信サービスを、県立図書館ホームページを経由して県民へ提供する。
- ③県立図書館及び公立図書館、博物館等が所蔵する新潟県関係歴史資料をデジタル化しホームページ上で公開することにより、情報利用の利便性を向上させるとともに、貴重資料の適切な保存を図る。

### (2) 指標① 達成目標：3年後に7,000冊

項目（指標）	達成目標（数値）			実績
	H30	R1	R2	
県立図書館から県内市町村図書館等への相互貸借冊数	H30	R1	R2	H30
	5,500冊	6,200冊	7,000冊	5,775冊 (105%)

（平成29年度実績：4,985冊）

### 指標② 達成目標：3年後に15,000件（各年度1,000件ずつ増加）

項目（指標）	達成目標（数値）			実績
	H30	R1	R2	
音楽ライブラリーアクセス件数	H30	R1	R2	H30
	13,000件	14,000件	15,000件	11,956件 (92%)

（平成29年度実績：12,593件）

### (3) 事業評価（自己評価）

自己評価	C	県内市町村図書館等への相互貸借冊数は、目標数値を上回ったが、音楽ライブラリーアクセス件数は、目標数値を大幅に下回る結果となったため、C評価となった。
------	---	--

AA 目標が十分に達成された。

A 目標が達成された。

B 目標がある程度達成された。 C 目標の達成が十分ではない。

※評価 AA：105%以上 A：100～104% B：95～99% C：94%以下

項目	項目の解説	状況
必要性	利用者ニーズ又は図書館の使命や方針に照らして、妥当か。	広域サービスの充実は、県内全域をサービス対象とする県立図書館の重要な使命のひとつであり、指標設定は妥当と考えられる。
有効性	期待される成果と実際の成果との関係。実績の向上がみられたか。	県内市町村立図書館等への相互貸借冊数については、期待どおりの成果を得られた。一方、音楽ライブラリーアクセス件数は、目標だけでなく前年度実績も下回る結果となった。
効率性	事業計画に対する内容や量、業務の運び方、進捗管理の妥当性等。	相互貸借と遠隔地返却サービスについては、市町村立図書館への協力要請、市町村を通じた広報（ポスター掲示・チラシ配布等）を行うとともに、コンテナを活用し梱包の省力化を図るなど、効率性を考慮しつつ取り組んだ。 音楽ライブラリーについては、各種イベント、県職員の研修・説明会等での広報、市町村へのポスター配布等を行ったが、その多くが年度後半での取り組みとなり、年度内に成果を上げることができなかった。

#### (4) 次年度の展開

方向性・問題点・改善点など
<p>広域サービスの充実は、県立図書館の重要な使命であることから、引き続き市町村との連携強化を図りつつ、2020年の目標達成に向け、重点的に取り組んでいく。</p> <p>音楽ライブラリーについては、より効果的な広報や新たな利用促進策を検討し、次年度以降、アクセス件数の増加を目指す。</p>

#### (5) 図書館協議会意見

<p>相互貸借制度の拡充（費用の往復負担）と、遠隔地返却サービスが開始され、また、円滑に実施されていることを高く評価する。今後の周知と利用促進が期待される一方で、利用の増加に伴う予算不足の事態は、断じてあってはならない。次年度は冊数を増やすことを主眼としつつ、利用実績を分析することにより利用者層を拡大するための方策の検討も望まれる。</p> <p>音楽ライブラリー（ナクソス音楽配信サービス）のアクセス件数が、今年度の達成目標のみならず、前年度実績も下回っていることを踏まえて、次年度に向けた方向性・問題点・改善点・方策などを具体的に明らかにする必要がある。委員からは、活用方法や活用事例の周知、利用者層を特定した広報の実施、講座の開催、期限付きのIDをホームページで公開して試聴の機会を提供する、などの提案が出されている。</p>
---